

農業委員と推進委員が地域活性化をリード

農地保全や特産品開発の事業推進役

地域運営組織

農村RMOモデル地区 福知山市・中六人部

福知山市中六人部では「農地の有効利用と遊休農地の発生防止」を目的に、農地の貸付希望者と借受希望者を仲介する農地農政相談の会場（中六人部ふれあいセンター）に立つ福知山市農業委員会の藤田重行会長（右）と井上淳一推進委員（中六人部地域農業活性化協議会会長）。



農地農政相談の会場（中六人部ふれあいセンター）に立つ福知山市農業委員会の藤田重行会長（右）と井上淳一推進委員（中六人部地域農業活性化協議会会長）。

進協議会で現況地図による話し合いを推進している。

市内15カ所で毎月「農地農政相談」

福知山市農業委員会

気軽に相談できると好評

福知山市農業委員会では、「農地農政相談」を毎月10日（休日ならば翌日）に市内15カ所で開催している。同委員会が32年前から続けている活動

本年度中に「地域計画」の目標地図（素案）作成へ

今年4月に改正農業経営基盤強化促進法が施行され、市と農業委員会は連携して「地域計画」を来年度までに策定する必要がある。福知山市は、中六人部をモデル地区と

意向確認の結果を踏まえ取り組みを推進する中澤賢一農業委員（右、7月19日退任）と中川尊基推進委員

内または外部の耕作者を探す仕組み。当面は現在の耕作者に営農を続けてもらいながら、耕作者の減少に応じて外部の担い手と呼び込むことや、新たな営農体制への移行を円滑に行うことができるため、全国的に注目されている。

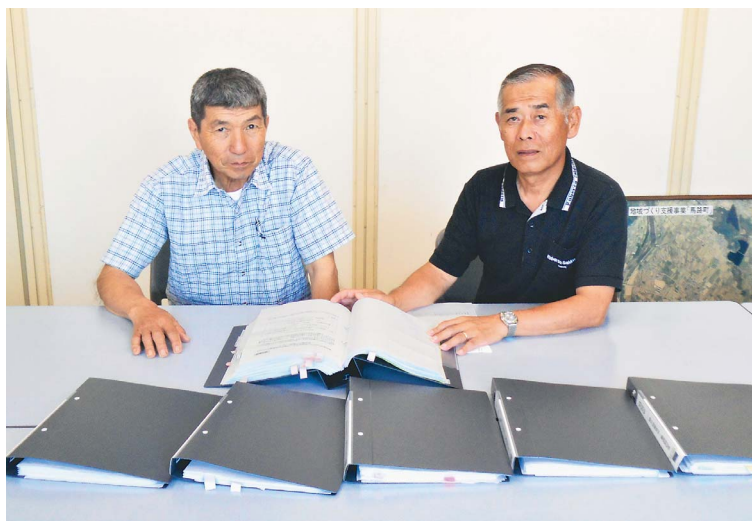
同町では、一昨年のアンケートで現耕作者の8割超が10年以内に農業をやめる意向であることが判明した。このため、新集落営農組織設立に向けて、準備委員会を立ち上げ、

いる人、預かっている人、自作している人、それぞれが安心できるとともに、新たな担い手の確保もできる仕組みを今のうちに整えておきたい」と語る。

また、中川尊基農地利用最適化推進委員も「新規就農者や企業も含めて担い手と呼び込みやすい営農体制で、馬路町に新たな担い手を迎え入れた」と期待する。

（福知山市農業委員会）

“まるっぽ中間管理”の仕組みへ



農地所有者の意向確認が進む

亀岡市馬路町

亀岡市馬路町では、農地中間管理事業を活用し、地域の全農地を管理する「まるっぽ農地中間管理方式」の確立に向

「まるっぽ」とは、地

京都農業経営塾

8月開講

府農業会議

京都府農業会議は、次世代の農業経営者を育成する「京都農業経営塾」（8月開講、全8回十個別相談会）の受講生を募集している。

塾では、経営者として実現したい目標と実現戦略を徹底的に考え、ウェブミーティングや個別相談で専門家や先輩農業者の

受講生を募集

アドバイスを受けながら、経営理念や具体的な実行計画を作成する。人材育成・財務分析・販売戦略など経営者に不可欠な能力を鍛えつつ、切磋琢磨する経営者の仲間づくりができる。

経営塾の参加費は1人3万円。受講の問い合わせ・申し込み先は、府農業会議（京都農人）075・417・6847まで。

南丹市 和久田 清さん



京かんざしを収穫する和久田さん

「京かんざし」の栽培に励む

農deきらきら

南丹市日吉町の和久田清さん（75）は、トルコギキョウの農作として、7年前から南丹地域特産のブランド京野菜「京かんざし」の栽培に力を入れ、ハウス6棟で新技術を積極的に導入して安定生産に励んでいる。

京かんざしは、葉も根も食べられる早取りの金時にんじんで、飲食店などの業務需要の増加に対応するため、出芽率向上や根色向上などの技術習得が課題となっている。

和久田さんは、播種後の灌水と発芽シートの設置に加え、今年から地温を下げる太陽シート（アルミ蒸着の遮光遮熱資材）も使用して、発芽率アップと根色向上に熱心に取り組んでいる。

また、病虫害防除では、アザミウマやアブラムシ対策として虫取りシートを使用するなど、減農薬で栽培する工夫を重ねている。

（南丹市農業委員会・前田利治委員）

女性委員が“つないで発信”

私の住む野村地区は、伊根町西部の山間部。太鼓山の北麓にある限界集落です。昭和38年（1993）の三八豪雪で多くの人が離村した地域ですが、海を豊かにする森が

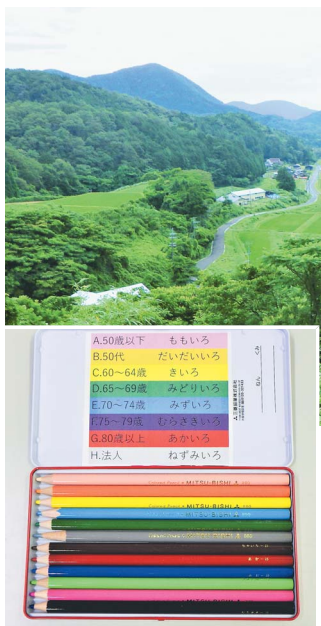
耕作者の年齢別地図を作成！

地区の垣根を越えて大切な農地を守りたい



農業委員を4期12年、推進委員を2期6年務めた岡田さん

農業委員会の委員が現況地図の色塗りに使用した色鉛筆



が、本年度から伊根町全域で「集落連携100珍農場づくり事業」に取り組むことになりました。地域計画の策定に向けた現況地図を作るため、今月、筒川上地区の耕作者の年齢別地図を色塗りして、後任の委員に引き継ぎました。地区内で農地を守ることが難しくなる中、地区の垣根を越えて農地を守る取り組みの発展に期待しています。

（伊根町農業委員会・岡田博美委員（7月19日退任））

京 都

京都府支局 京都府農業会議

京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 府庁西別館内 075・441・3660